

横浜市地球温暖化対策推進協議会の取り組み



エネルギー資源に乏しい日本は、エネルギー自給率がわずか4%です。他に別のエネルギーの助けが必要となってきたのが「新エネルギー」です。横浜市ではCO-DO30を通じて、新エネルギーの活用を中心に、市民の方々に市内の施設を見てもらっています。

チーム CO-DO30 風力発電見学会

風力発電見学会 ～ハマウイング～

横浜市の風力発電所【ハマウイング】と市内の環境と関わりのある施設のバス見学会を行っています。この見学会に参加して、エコについて考え、さらにもう一步、地球にやさしい行動をするきっかけづくりをしませんか？ 皆様の参加をお待ちしています。

ハマウイングのある瑞穂埠頭(神奈川区鈴繁町)は、普段、一般の方が立ち入ることができません。



ハマウイング現地説明風景



ハマウイング見学風景



ハマウイング講演風景



ハマウイング全景@瑞穂埠頭

企業の環境への取り組みも見学しました



麒麟横浜ビヤビレッジ



東京電力川崎火力発電所



新日本石油根岸製油所



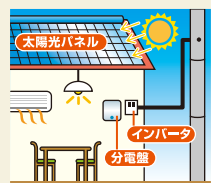
三菱みなとみらい技術館

いろいろあるよ!

新エネルギー

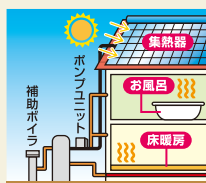
太陽光発電

太陽電池に、太陽などの光が当たると電気ができます。この太陽光発電は、太陽の光エネルギーを直接電気に変換するものです。



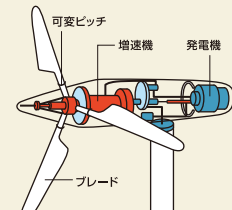
太陽熱利用

太陽の熱エネルギーを集熱器で集め、給湯や冷暖房に利用するものです。



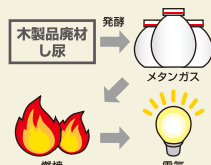
風力発電

風之力で風車を回し、その回転運動を発電機に伝えて電気を起こします。



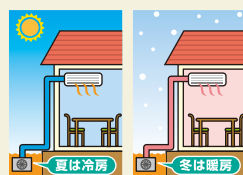
バイオマス発電

エネルギー源として活用可能な木製品廃材や、し尿などの有機物を使って発電します。発酵させて発生するメタンガスを燃料として利用することもできます。



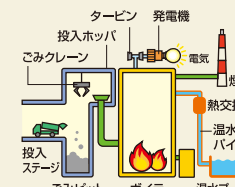
温度差エネルギー

海や川の水温は、夏も冬もあまり変わりがなく、外気との温度差があります。この温度差を、ヒートポンプや熱交換器を使うことによって、冷暖房などに利用できます。



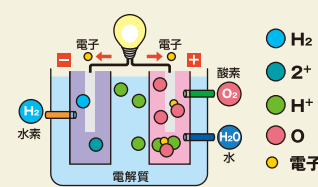
廃棄物エネルギー

ゴミを焼却する際の熱で高温高压の蒸気を作り、その蒸気でタービンを回して発電します。発電した後の廃熱は、周辺地域の冷暖房や温水として有効利用できます。



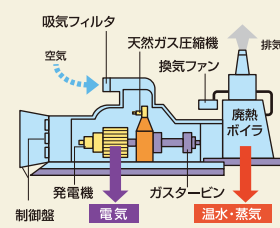
燃料電池

「水素」と「酸素」を化学反応させて、直接「電気」を発電する装置です。また、発電と同時に発生する熱も活かすことができます。



天然ガスコージェネレーション

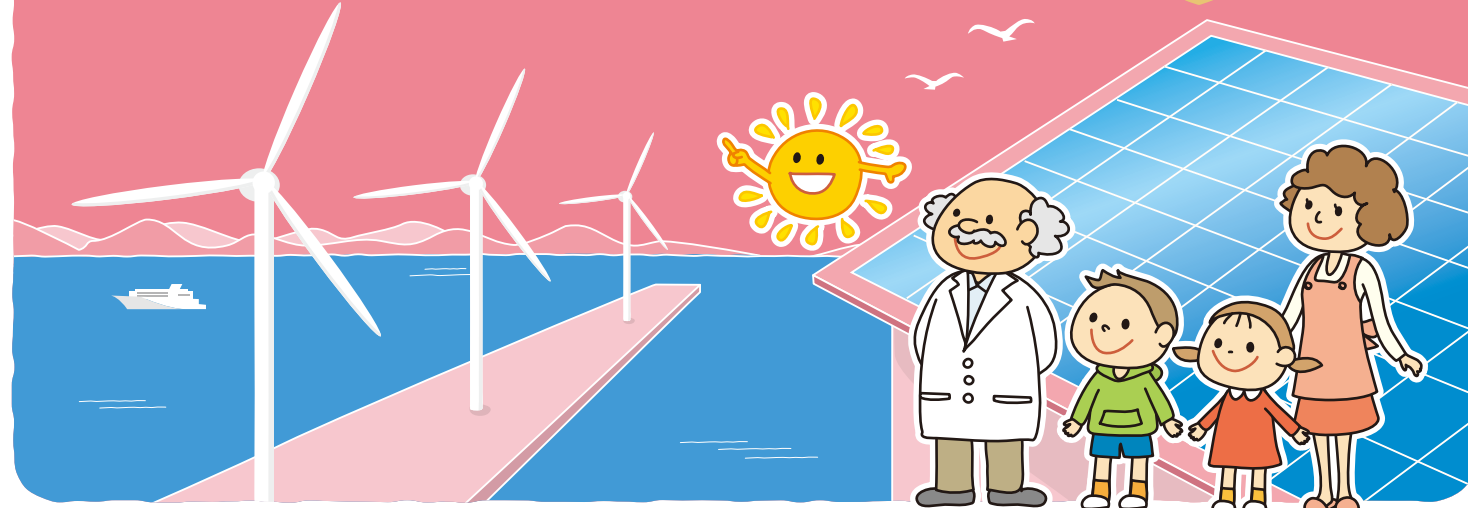
発電機で電気をつくるときに出る熱も利用して、給湯や暖房に使うシステムです。



STOP!
温暖化

家庭に広まる新エネルギー

新エネルギー
ガイドブック



発行 横浜市地球温暖化対策推進協議会

協力 横浜信用金庫／横浜市地球温暖化対策事業本部

お問い合わせ TEL: 045-681-9910 E-mail: yokohama@team-co-do30.jp

<http://yokohama.team-co-do30.jp/>

始めよう
家庭で新エネ



太陽の恵みを肌で感じて活用しましょう
太陽光発電・太陽熱利用

買取制度や補助金制度をどんどん活用して
新エネのエコパートナーになりましょう

燃料電池が家庭で使えます

横浜市地球温暖化対策推進協議会とは...

「地球温暖化対策の推進に関する法律」第26条の規定に基づき、当協議会は温室効果ガスの削減目標の達成に向け、市民や事業者の具体的な取組を促す効果的な対策の実施について協議し、推進することを目的として設置されているものです。

このガイドブックは、横浜信用金庫様からの寄付金を活用させていただき作成したものです。



新エネは遠い存在なんかじゃないよ!



始めよう!
新エネ

新エネルギーという言葉は聞いたことがあるけれど、「まだまだわが家には関係ない。」そんな風に思っていないですか? 新エネルギーの導入は決して未来の話ではなく、現在でも住宅への導入が可能なものがあります。家族や自分のライフスタイル、そして地球環境の将来にむけて検討してみてもいいでしょう。

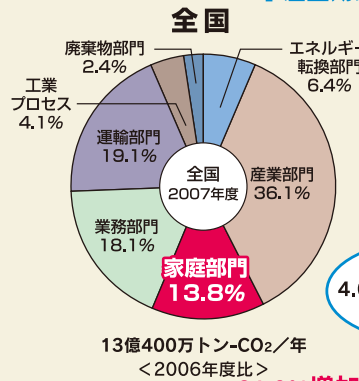


私たちの街 横浜の現状

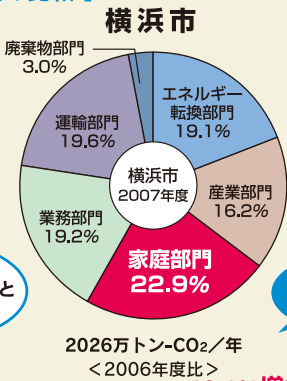
横浜市は家庭から排出される温室効果ガスの排出量が全国に比べ多いのが特徴です。新エネを使って、家庭の温室効果ガスのうちまずはCO₂から削減しましょう。

横浜市では「CO-DO 30」を策定し、2025年までに1人当たりの温室効果ガス排出量を、**30%以上削減**を目指しています。

【温室効果ガス排出量の比較】

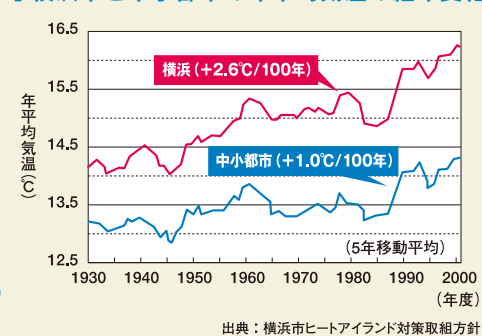


13億400万トン-CO₂/年
<2006年度比>
家庭部門及び業務部門=31.9%増加



2026万トン-CO₂/年
<2006年度比>
家庭部門及び業務部門=42.1%増加

【横浜市と中小都市の年平均気温の経年変化】



出典：横浜市ヒートアイランド対策取組方針

家庭におけるいろいろな新エネルギー

家庭
における

太陽光発電

実感
しました!

太陽光発電は家計にも地球にもやさしいことを実感!!

横浜市在住 木村さん

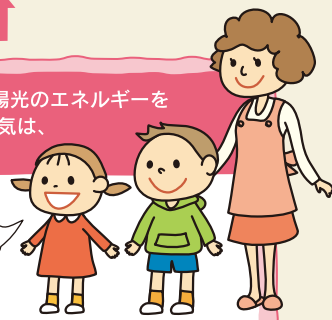
太陽光発電を設置してみて、家計にも地球にもやさしいということを実感しています。

特に電力を大切に作る気持ちになりました。消費電力の少ない家電製品を選んだり、照明やエアコンは太陽が出ている時間帯を中心に使用を考えたりしています。

このハードとソフトの相乗効果により、家庭内のエネルギーコストを約1/3(65%)にまで削減することができました。勿論、家計はニコニコ。

更に、地球温暖化防止にも貢献できるなど、この家計にも地球にもやさしいエコな太陽光発電は、お得です!

太陽光発電にすれば地球にやさしい生活になるね。



使って
みました!

東京電力「ツインソーラー」

“太陽光発電+オール電化”で快適な毎日。



横浜市在住
岩田さん

私は、環境のことをそれほど意識してはいなかったのですが、孫ができてからはとても意識するようになりました。地球の未来は、孫の未来ということになりますので、孫の幸せを考えると、環境に優しい太陽光発電を導入して、本当に良かったと思っています。

当初は、オール電化にすると光熱費が高くなってしまったのでは?と考えていましたが、実際には半分程度まで下がりました。経済性の高さも「太陽光発電+オール電化」の大きなポイントでしょうね。

最初は導入コストの面で悩まれるかもしれませんが、毎月の光熱費が減ることや安全性を考えると、やはりオススメです。まずは実際に東京電力のショールームなどで相談されてはいかがでしょうか? 親しい方で導入されている方がいれば、聞いてみるのもいいと思います。私はお友達や親戚にオススメしています。



太陽光発電パネル



「エコキュート」



2つの太陽と、喜ばす。「ツインソーラー」

太陽に暖められた空気の熱を利用するオール電化に、太陽光発電を組み合わせCO₂の排出をさらに抑えることができる画期的なシステムです。太陽という再生可能エネルギー源を活用しながら、効率よく過ごしやすい低炭素なスタイルを実現します。

オール電化や太陽光発電に関するお問い合わせは

東京電力

検索

東京電力ホームページ <http://www.tepco-switch.com>

家庭
における

燃料電池

使って
みました!

東京ガス「エネファーム」

横浜市在住 平野さん

施工：東京ガス横浜中央エネルギー株式会社



家庭用燃料電池の技術が確立されてきていることは知っていましたが、実用化についても興味を持っていました。風呂給湯器の調子が悪いこともあり、買い替えるならば、環境貢献に協力してみようかと思いました。各機器による発電量とともに、家中の電気の消費量もリコンでわかります。例えば、電気ポットでお湯を沸かして、長時間保温しておくのは思っていた以上に消費電力が大きいと気が付き改善するなど、日頃の行動も変わってきました。今後も、家中のエネルギーを一番効率よく使えるように習慣づけたいと思っています。

エネファームに関するお問い合わせは

東京ガス

エネファーム

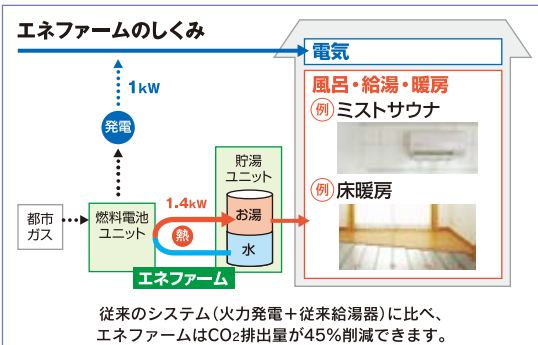
検索

東京ガスホームページ

http://home.tokyo-gas.co.jp/enefarm_special/index.html

家庭用燃料電池を導入すれば、発電した電力を家庭内で利用出来ます。生成した温水を給湯や入浴に利用すれば、電気・熱を効率的に作ることで、エネルギー使用量を削減出来ます。

燃料電池が家庭で使えるんだ!



従来のシステム(火力発電+従来給湯器)に比べ、エネファームはCO₂排出量が45%削減できます。

家庭
における

太陽熱利用

使って
みました!

太陽の恵みを感じる毎日です。

横浜市在住 中村さん

太陽熱利用によって得られる温水を、我が家では主にお風呂や給湯に利用しています。

温水は、夏場の天気の良い日であれば90℃を超え、冬場でも40℃前後になります。ですから、お風呂は少し沸かすだけで済みますし、夏は水を容れて調整すればそれで済みます。結果的に、光熱費が減って家計に嬉しいのはもちろん、CO₂排出量の削減にもなりますから気持ちよく使っています。我が家で導入した当時は補助金制度がありませんでしたが、今では太陽熱

利用のシステムについては横浜市の補助制度がありますから、うらやましいですね。補助制度を上手に活用して、設置をお考え戴く事をオススメします。

太陽の恵みを肌で感じ、太陽に感謝する日々を実感してみませんか。



太陽の干からはずいぞい!



耳寄り情報① 新買取制度

平成21年11月1日より、低炭素社会実現に向けて、太陽光発電の導入拡大を図るために「**太陽光発電の新たな買取制度**」が開始されました。

例えば... 平成22年度以前に太陽光発電設備を設置された場合は、**48円/kWh**を**10年間**買い取りいたします。

新買取制度に関するお問い合わせは

東京電力

検索

東京電力ホームページ <http://www.tepco.co.jp/>

耳寄り情報② 補助金制度

太陽光発電システムを導入すると、**国から県から市から補助金**が出ます!

国 ■募集期間：2010年4月26日～2010年12月24日
■補助金額：70,000円/kW
※補助金をお申し込いただくには、下記条件が必要となります。
●最大出力10kW未満 ●システム価格が650,000円(税抜)/kW以下
■お問い合わせ先：太陽光発電普及拡大センター
URL：http://www.jp-pec.or.jp/
TEL：043-239-6200(受付時間 9:00～17:20)

県・市 ■募集期間：2010年4月1日～2011年2月15日
※先着順で予算額に達した段階で終了です。※市にお申し込いただく、県の補助金も申請出来ます。
■補助金額：(市)20,000円/kW 上限80,000円 補助件数約2,000件
：(県)20,000円/kW 上限70,000円
■お問い合わせ先：横浜市地球温暖化対策事業本部
URL：http://www.city.yokohama.jp/me/kankyoku/ondan/solar/
TEL：045-671-4225

耳寄り情報③ 補助金制度

1. 太陽熱システムを導入すると、横浜市から補助金が出ます! 2. 環境省がメーカーに半額補助金を出してくれます。設置費用の半額で、10年リースで購入出来ます。横浜市の補助金も併用出来ます。